

経済産業統計の整備

平成30年度予算額 **28.6億円 (31.2億円)**

事業の内容

事業目的・概要

- 経済産業統計の整備及び着実な実施により、産業活動の実態を明らかにし、経済産業政策等の立案・評価、事業者や個人の合理的な意思決定、学術研究や国際的な相互理解等に必要となる基礎的な情報基盤を提供します。
- 具体的には統計調査等により下表のような各種統計を作成、公表しています。

〈例〉工業統計調査（毎年）

全国の工場の出荷額、従業者数等を調査。国の産業政策、地域の企業立地政策の策定、国民経済計算(GDP等)等の作成の際の基礎資料となります。
 鉱工業指数 (IIP) (毎月)
 鉱工業製品を生産する国内事業所の生産、出荷、在庫等や、生産の先行き2ヶ月の予測を指数化。景気動向指標として、広く活用されています。

成果目標

- 幅広い場面で活用されている工業統計調査、鉱工業指数等の公的統計について、調査方法の見直し（オンライン調査、民間事業者の活用）などにより精度の維持・向上を図りつつ、早期かつ着実な公表を行います。

☆は基幹統計、()は調査の周期

統計の分野	一次統計			加工(二次)統計及び分析		
	構造統計	動態統計	企業統計	一次統計を基に指数化、加工された統計・分析		
鉱工業	☆工業統計調査(毎年)	☆生産動態統計調査(毎月)	☆企業活動基本調査(毎年)	☆鉱工業指数(IIP)(毎月)		
商業	☆商業統計調査(毎年)	☆商業動態統計調査(毎月)	海外事業活動基本調査(毎年) 海外現地法人四半期調査(四半期) 〈製造業のみ〉	第3次産業活動指数(毎月)	全産業活動指数(毎月)	産業活動分析(四半期) ☆産業連関表(うち、基本表を5年ごと、延長産業連関表を当省にて毎年作成)
サービス業	☆特定サービス産業実態調査(毎年)	特定サービス産業動態統計調査(毎月)	情報通信業基本調査(毎年)			

※構造統計…産業の構造を把握する基礎的な統計(平成23年度以降、経済センサス(本調査)の実施年度(5年ごと)においては、同調査において実施。)

※動態統計…経済活動の短期的動向を把握する統計 ※企業統計…企業活動の全体像及び海外での事業活動を把握する統計

事業イメージ

①統計の企画、評価、見直し



④結果活用(政策立案・評価等)



②調査実施、統計作成



③結果公表



事業の実施体制

〈工業統計、商業動態統計、生産動態統計に係る調査業務〉

国

法定受託事務

都道府県(市区町村)

(注) 統計法に基づき、一部業務を都道府県等の法定受託事務としています。

〈上記以外の調査業務〉

国

一部業務を委託

民間事業者